

平成21年5月29日

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター
【協力】 神奈川県水産技術センター
千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会
東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年5月25日観測結果

貧酸素水塊は千葉港沖を中心として分布していました(図1)。内湾縦断ラインでは、水深20m前後の海底斜面上に貧酸素水塊が分布していましたが、その厚みは1~2mと薄かったです(図2)。このため、貧酸素水塊の規模は1%以下であり、引き続き例年より小規模で推移しています(図3)。湾奥の東京灯標~浦安地先は、海面が紅~褐色を呈しており、濃い赤潮状態となっていました。

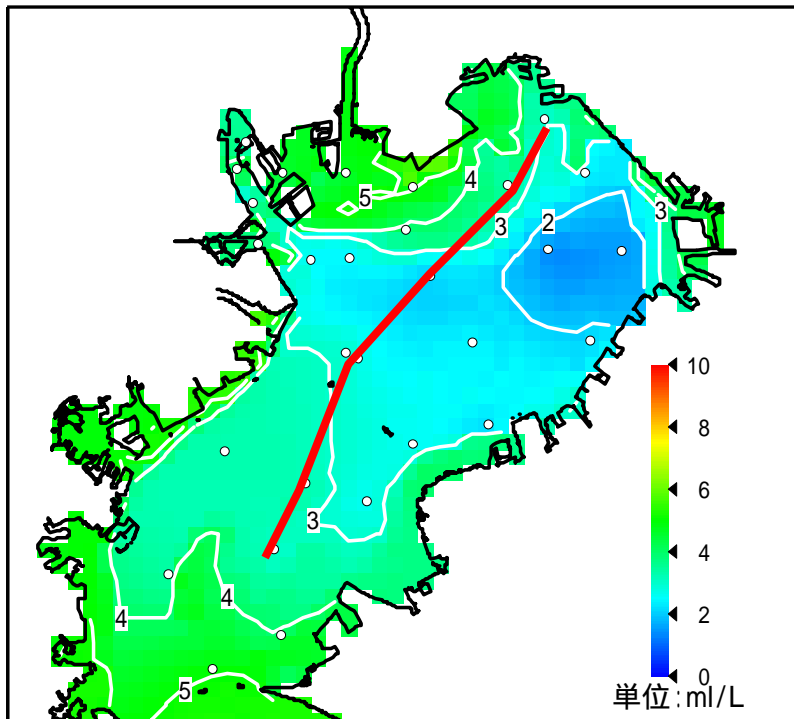


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

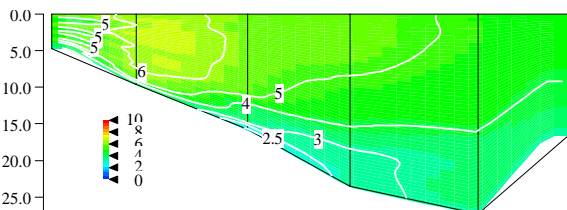


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

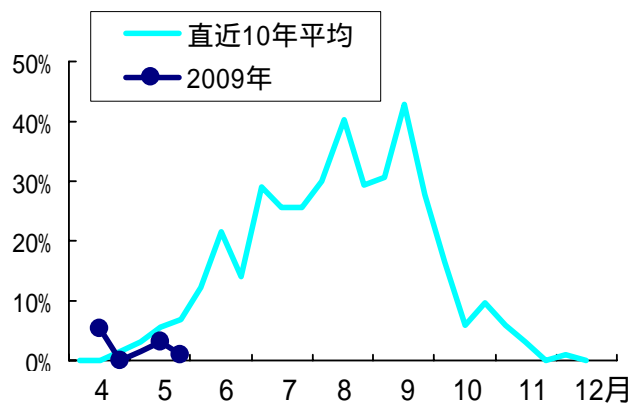


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)